

同額入札のくじについて

開札の結果、落札となるべき同価格の入札をした者（以下、同額入札者）が2者以上あるときは、くじにより落札者の決定を行います。くじは、同額入札者が入札書に記入したくじ番号と、同額入札者の商号・名称の読みを使用し、次の手順で行います。

【くじの手順】

入札参加者のうち、同価格の入札をした者が4者の場合

付番	同額入札者	入札書記入のくじ番号
0	乙有限会社	1 4 1
1	一般社団法人甲	5 9 2
2	株式会社丁	6 5 3
3	丙合同会社	5 8 9

① 同価格の入札をした者を商号・名称の五十音順（昇順）に並べ、0から順に付番します。

その際、株式会社・一般社団法人などの法人の種別を示す文字は、並び順の対象から除きます。

② 同額入札者の入札書記入のくじ番号をすべて加算します。

$$141 + 592 + 653 + 589 = 1975$$

③ 上記で算出された数字を同額入札者の数（この場合は4）で割ります。

$$1975 \div 4 = 493 \text{ (余り3)}$$

④ ③で算出した余りの数値と、①で付番した数値が一致する者が落札者となります。

この例示の場合、「丙合同会社」が落札したこととなります。